報道関係各位

2020 年 3 月 25 日

カーライル・ジャパン・エルエルシー

カーライル・グループ、日本のバイアウト第 4 号ファンドで 2,580 億円の資金調達を完了

- 資金調達額は、前回の第 3 号ファンドの 2 倍以上に
- 国内の 3 つの中核産業グループにおける投資機会に注力
- カーライル・ジャパンのコーポレート・プライベート・エクイティ事業強化の一環として、富岡隆臣および大塚博行がカーライル・ジャパン副代表に就任

世界有数の投資会社である米カーライル・グループ（本社：米国ワシントン D.C.、日本代表：山田和広、以下「カーライル」）は本日、日本のバイアウト第 4 号ファンドであるカーライル・ジャパン・パートナーズ IV（以下「CJP IV」）が、2,580 億円（約 23 億米ドル）の資金調達を完了したことをお知らせいたします。

CJP IV は、国内外の投資家からの強力な支援を受け、前回の第 3 号ファンドより 2 倍以上大きいファンド規模となりました。1) 日本の消費財・小売り・ヘルスケア、2) 製造業・一般産業、3) テクノロジー・メディア・通信分野、などにおける中堅企業への投資機会ならびに大型投資案件を追求していきます。

また、カーライル・ジャパンのコーポレート・プライベート・エクイティ事業強化のため、2020 年 1 月 1 日付で現マネージング・ディレクター富岡隆臣および大塚博行がカーライル・ジャパン副代表に就任いたしました。在籍 17 年の富岡は事業承継案件およびその他中型バイアウト案件を、在籍 14 年の大塚は国内コングロマリット企業からの事業カーブアウト案件およびその他大型バイアウト案件を担当し、組織体制のさらなる強化を図ります。両氏は、カーライル・ジャパンの代表者である山田和広と緊密に連携しながら、カーライルの投資活動をより一層推進してまいります。

カーライル・ジャパンの山田和広代表は、「我々は、20 年間の投資実績を通じ、投資先企業の価値を創出し、業績を向上させる当社の能力を評価してくださる投資家の皆様からの厚い信頼とご支援をいただいております。ファンドの規模拡大と組織体制の強化により、日本で増加傾向に

ある事業承継およびカーブアウト案件を中心とした投資機会をしっかりと捉えていくことができると考えています。」と述べています。

カーライル・グループ共同最高経営責任者のキューソン・リーは、「当社は、日本市場についての深い理解とグローバルのネットワークを活かし、投資家の皆様と投資先である日本企業に長期的な価値を創出することで、過去 20 年にわたり日本のプライベート・エクイティ市場の発展に貢献してきました。優れた経営陣や成長潜在性の高い企業とパートナーシップを組み、長期にわたって成長と価値創造を促進することにより、進化する日本市場での事業をさらに強化していきます。」と述べています。

日本では、2000 年に東京オフィスを設立して以来、カーライル・ジャパン・パートナーズ I、II、III の 3 つのバイアウト・ファンドを通じて 3,000 億円（27 億米ドル）以上の共同投資を含む投資を行ってきました（2019 年 12 月 31 日時点）。昨年は、カーライル・ジャパン・パートナーズ III で、ビール系メーカー国内 5 位のオリオンビール株式会社、総合研磨メーカーの三共理化学株式会社、化粧品 OEM の株式会社トキワを含む計 3 件の投資を実行いたしました。

カーライル・ジャパン・パートナーズは、日本の特化型ファンドとして、東京を拠点とする約 20 名の投資プロフェッショナルで構成するカーライル・ジャパンのアドバイザリーチームによって投資助言されており、これまでに国内で 26 件の投資を実行してまいりました。特に、日本企業の事業承継・カーブアウト案件を含む多様な投資案件の実行を通じ、日本企業の事業再編と事業拡大支援における多数の実績を有しています。また、これまで 18 件のエグジットの内、7 件は IPO を実現しております。

【略歴】
富岡隆臣
カーライル・ジャパンの副代表を務めるとともに、マネージング・ディレクターとして事業承継案件を主導。カーライル・ジャパンの消費財・小売り・ヘルスケア業界の責任者として、これまで、クオリカプス株式会社、株式会社ソラスト、株式会社おやつカンパニー、三生医薬株式会社、オリオンビール株式会社などへの投資を主導し、各社の非常勤取締役として企業価値向上に貢献。
日本長期信用銀行、GE Equity Japan 日本代表を経て、2003 年にカーライルに移籍。
早稲田大学法学部卒、米ニューヨーク大学にて MBA 取得

THE CARLYLE GROUP

大塚博行
カーライル・ジャパンの副代表を務めるとともに、マネージング・ディレクターとしてカーブアウト案件を主導。カーライル・ジャパンのジェネラル・インダストリー業界の責任者として、これまでチムニー株式会社、株式会社ツバキ・ナカシマ、シーバイエス株式会社、センクシア株式会社（旧、日立機材株式会社）などへの投資を主導し、各社の非常勤取締役として企業価値向上に貢献。現在、センクシア株式会社とウォルブロー・エンジン・マネジメントの取締役。
住友銀行（現、三井住友銀行）、ラザード マネージング・ディレクターを経て、2006 年にカーライルに移籍。
早稲田大学商学部卒業、英国オックスフォード大学ヨーロッパ研究学修了

＊＊＊＊＊

カーライル・グループについて

カーライル・グループ(CG:NASDAQ)は、深い業界知識を有し、グローバルに展開する投資会社で、「コーポレート・プライベート・エクイティ」「リアルアセット」「グローバル・クレジット」「インベストメント・ソリューションズ」の 4 つの分野で投資活動を展開しています。カーライルの目的は、関連する投資家、ポートフォリオ企業、社会の為に賢明な投資を行い、価値を創造することであり、2019 年 12 月 31 日時点の運用資産は総額で 2,240 億米ドルにのぼります。現在世界 6 大陸の 32 のオフィスに 1,775 名以上の社員を擁しています。カーライルは、グローバルに展開する投資会社の中で唯一、日本に特化した円建てのバイアウト・ファンドを運用しており、これまでにカーライル・ジャパン・パートナーズより国内で 26 件の投資を実行しています。また、日本企業の海外展開、事業効率の改善、経営インフラの強化などを支援してきた実績を有します。詳しくは、www.carlyle.com をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】
Kekst CNC　大谷、斎藤、岸本
電話番号： 03-5156-0190 / 03-5156-0189 / 03-5156-0273
Email: carlyle@kekstcnc.com